

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境			0.30			3.1
1 音環境		2.9	0.15	-	-	2.9
1.1 騒音		2.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		2.0	1.00	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能	ALC又は乾式遮音壁を採用	5.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.1	0.35	-	-	3.1
2.1 室温制御		3.6	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能	外壁:金属サドウィッチパネル、居室窓Low-eガラス採用	4.0	0.25	-	-	
4 ゾーン別制御性	冷暖房フリータイプのエアコンの採用(一部)	4.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		2.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.2	0.25	-	-	3.2
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-	
1 昼光率	昼光率3.45%	5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		2.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気環境		3.4	0.25	-	-	3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
1 換気量	生産エリア30m ³ /h・人、外気導入	4.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	給排気ガラの離隔確保6m以上	3.0	0.33	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.7
1 機能性		3.7	0.40	-	-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	一人当たり執務スペース12.7m ²	5.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	事務室天井高3000mm、窓設置	5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース	執務スペースの4割程度確保+自動販売機設置	5.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	清掃管理、衛生管理を重視した仕上げを採用	5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31	-	-	3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塗床、壁:EP塗装、天井:デッキプレート表し	4.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	外部ダクト:ガルバリウム製	4.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	細かな空調ゾーニング	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	井水利用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブル、引込の2ルート化、MDF室2階設置	5.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.3	0.29	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高6000mm以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1以下	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		4500N/m ² 以上	5.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.3	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	天井・設備スペースが広い	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	天井・設備スペースが広い	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率照明器具採用、高効率モジュールヒーポンチラー	5.0	0.43	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	ERR=48.6%	5.0	-	-	
		集合住宅の評価	3.0	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水型便器	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.6	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	井水を工場全体の給水に利用	4.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材、盛土利用、再生材料を用いた舗装用ブロック	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	外壁・内壁共に鉄骨+乾式仕上げ材採用	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	なるべく有害物質を含まない材料を採用	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		高効率照明器具採用	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	燃焼機器なし	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置場、来客駐車場、荷捌き駐車場の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ごみの分別管理、十分な廃棄物置場の確保	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		-	-	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.67	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.33	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	床面に向けて照らしている	4.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	